

# メッシュバスケットワゴン

ロッシーニ【アラベスク】【モザイク】3段

品番：ROW-F3A/ROW-F3M 共通説明書



この度は、本製品をお買い上げ頂き誠に有り難うございます。  
ご使用前に、必ずこの説明書を最後までお読み頂き、正しい使い方で末永くご使用下さい。

## ⚠️注意事項

- 危険ですので、ワゴン以外の用途にご使用しないで下さい。
- 製品の上に、水気のものや熱を持ったものを直接置かないで下さい。
- 直射日光のあたる場所や、湿気が多い場所でのご使用は控えて下さい。変形・変色の恐れがございます。
- 水平な場所でご使用頂きますように、お願いします。
- 商品に偏った体重のかけ方をされると横転の危険があります。特にご注意ください。
- 組立ての際には床等が傷つかないように、布等を敷いた上で組立てして下さい。
- ご使用中にゆるみが出た場合は、各部分のボルト・ネジを確実に締め直して下さい。

ROSSINI メッシュバスケットワゴン【アラベスク】【モザイク】3段(ROW-F3A,ROW-F3M)

### 品質表示

※外形寸法：約 幅450mm×奥行365mm×高さ780mm  
 ※表面材：(天板)パインの天然木【ROW-F2A, ROW-F2M(BK)】  
 杉の天然木【ROW-F2M(WH)】  
 中質繊維板【ROW-F2Mのみ】  
 (脚部・バスケット)スチールパイプ  
 ※表面加工：(天板)ラッカー塗装【ROW-F2A, ROW-F2M(WH)】  
 植物性オイル塗装【ROW-F2M(BK)】  
 (脚分・バスケット)エポキシ粉体塗装

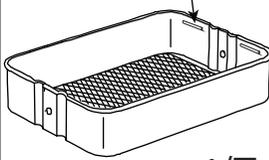
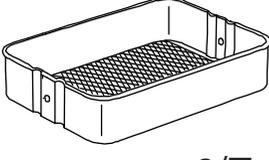
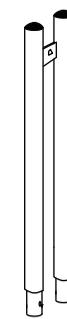
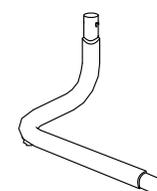
### 取扱上の注意

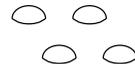
1. 湿気が多い場所でのご使用はお避け下さい。
2. ご使用の際は、水平に保つようにして下さい。
3. 直射日光またはストーブなどの熱はお避け下さい。
4. 加熱したなべ、湯沸かし等を直接置かないで下さい。
5. 腰掛けたり上には乗らないで下さい。

表示者：株式会社B.Bファニシング  
 大阪府堺市堺区南清水町3丁目2-13  
 TEL:072-242-8455

MADE IN CHINA

# 組立説明書【2021.1】 ※プラスドライバーをご用意ください。

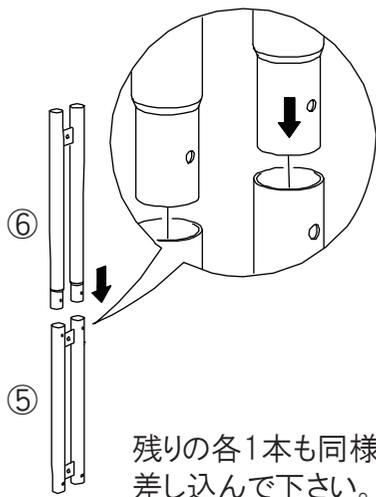
部材		※組立前に、以下の部材が揃っているか必ずご確認ください。	
①バスケット(上段用)	②バスケット(下段,中段共用)	③天板	④鉄片
バスケット(上段用)は天板のストッパーが付いています 			
1個	2個	1枚	6枚
⑤下パイプ	⑥上パイプ	⑦曲げパイプA	⑧曲げパイプB
			
2本	2本	2本	2本

部品				※組立前に、以下の部品が揃っているか必ずご確認ください。			
A:ボルト(長)	B:ナット	C:ボルト(短)	D:スパナ				
 6本+予備1本 M5x12mm	 6本+予備1本	 10本+予備2本 M4x6mm	 1本				
E:キャスター	F:天板のがたつき止め						
 4個	 4個						

1

組立する前に、組立時に床などが傷つかないように、毛布や段ボールなどの上で組立を行うように、お願い致します。

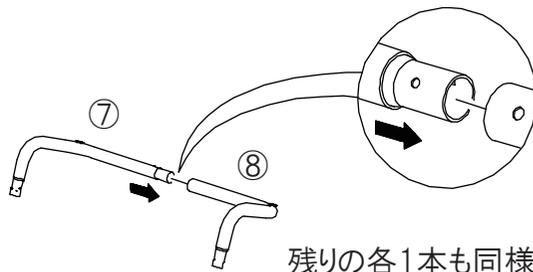
⑥上パイプを、下記のイラストの様に、⑤下パイプに挿し込んで下さい。



残りの各1本も同様に  
差し込んで下さい。

3

⑦曲げパイプAと⑧曲げパイプBを、下記のイラストの様に、挿し込んで下さい。

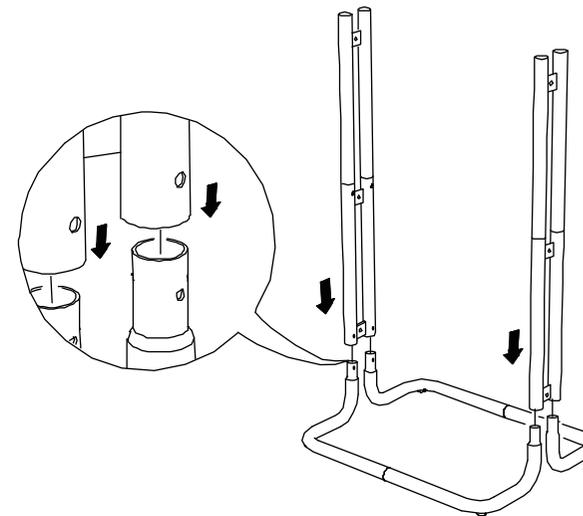


残りの各1本も同様に  
差し込んで下さい。

5

下記のイラストの様に、②で組立てたパイプを、④で組立てた物に挿し込んで下さい。

※②で組立てたパイプにボルト穴が開いています。この穴は内側に向けて取付けて下さい。



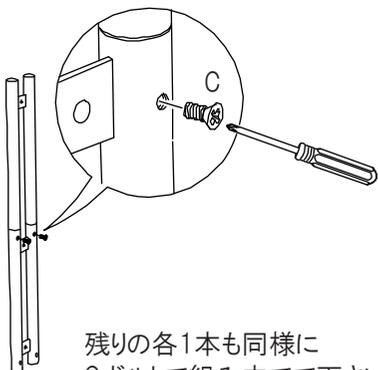
2

①で組立てた物に、下記のイラストの様にCボルト(短)を、プラスドライバーで取付けて下さい。

#### 注意!

※Cボルト(短)は、最後まで締めるのではなく、少し動くぐらいの仮止めにしておいて下さい。

このCボルトを最後までしっかり締めた場合に、ボルトの締める力にパイプが引っ張られて、がたつきの原因になる可能性があります。このCボルトは、仮止めでも使用上の強度には影響はございません。

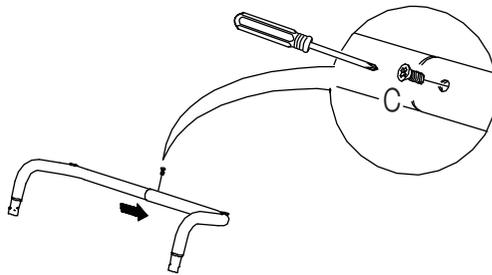


残りの各1本も同様に  
Cボルトで組み立てて下さい。

4

③で組立てたパイプに、ボルト穴が開いていますので、その穴に、Cボルト(短)を、プラスドライバーで取付けて下さい。

※Cボルト(短)は、最後まで締めるのではなく、少し動くぐらいの仮止めにしておいて下さい。



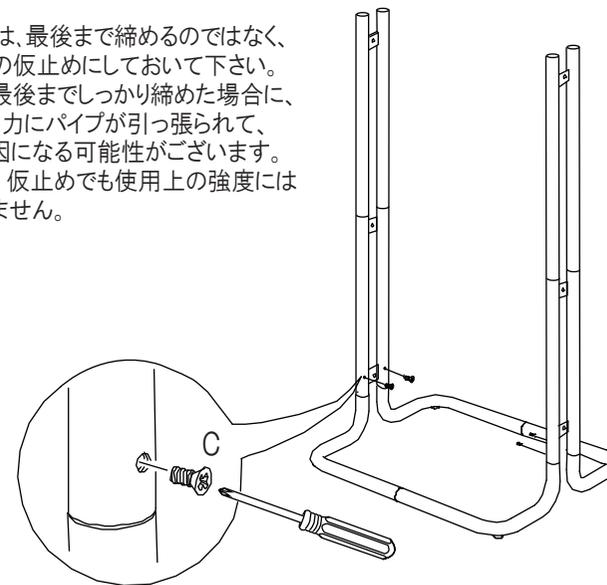
残りの各1本も同様に  
Cボルトで組み立てて下さい。

6

⑤で組立てた物に、下記のイラストの様にCボルト(短)を、プラスドライバーで取付けて下さい。

#### 注意!

※Cボルト(短)は、最後まで締めるのではなく、少し動くぐらいの仮止めにしておいて下さい。このCボルトを最後までしっかり締めた場合に、ボルトの締める力にパイプが引っ張られて、がたつきの原因になる可能性があります。このCボルトは、仮止めでも使用上の強度には影響はございません。



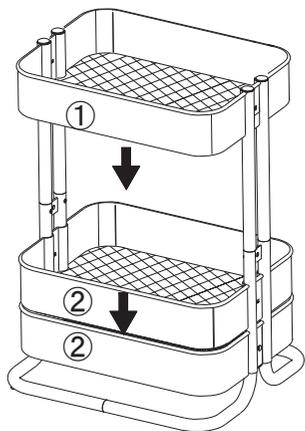
7

6で組立てた物に、下記のイラストの様に②バスケット(下段、中段共用)を上から入れて下さい。次に①バスケット(上段用)を上から入れて下さい。

### 注意!

※上記のバスケットを入れる作業の時に、4と6で仮止めにしていたCボルトのボルト頭が、バスケットの底とぶつかりあう場合がございます。

その場合は、4と6で仮止めしてある、Cボルトをもう少し締めて調整をしてから、再度バスケットを入れてみてください。



9

8で組立てた物を、下記のイラストの様に、パイプの横バーに開いている穴に、④鉄片とAボルト(長)を外側から通したあと、バスケットの側面に開いている穴にもAボルト(長)を通してから、バスケットの内側からBナットを指でぐるぐる回すようにして止めて下さい。

### 注意!

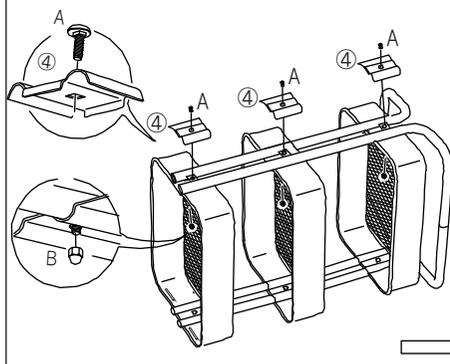
⑤パイプの横バーのボルト穴にAボルト(長)を貫通させずに組み立てると、バスケットが斜めに歪んで組み上がりますのでご注意ください。

### 注意!

バスケットの組立てる順番ですが、最初に上段バスケット、次に中段バスケット、次に下段バスケットの順番で取り付けて下さい。

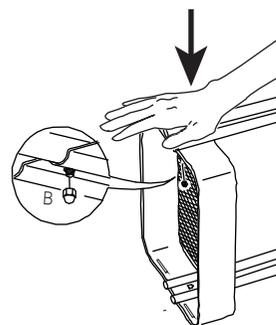
### 注意!

Aボルト(長)は、最後まで締めるのではなく、指で回して止められる程度の仮止めにして下さい。



### 組立のコツ!

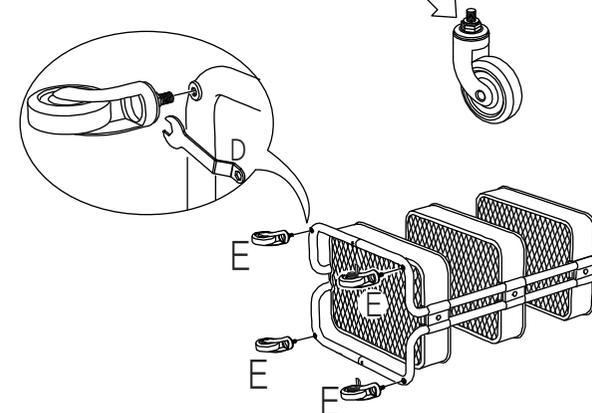
下記のイラストの様に、Aボルトの付近を手で押さえて上から押すような形で、組立てていただくとスムーズです。



11

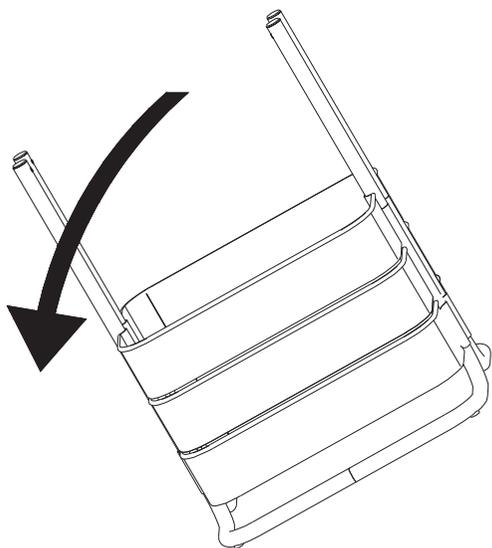
10で組立てた物の裏側に、下記のイラストの様にEキャスターをDスパナを使用して、取付けて下さい。

※Eキャスターのナットが1番下まで締めてあるか確認してから取付けて下さい。



8

7で組立てた物に、下記イラストの様にゆっくりと、横向きに倒して下さい。



10

9で組立てた物を、反対側に裏返して下さい。次に下記のイラストの様に、パイプの横バーに開いている穴に、④鉄片とAボルト(長)を外側から通したあと、バスケットの側面に開いている穴にもAボルト(長)を通してから、バスケットの内側からBナットを指でぐるぐる回すようにして止めて下さい。

### 注意!

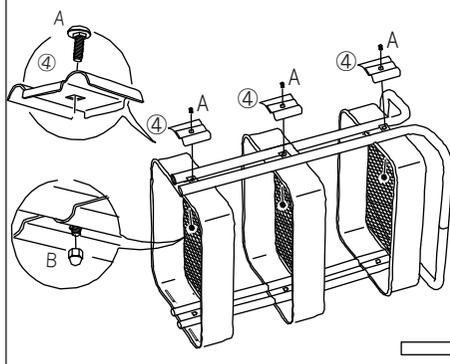
⑤パイプの横バーのボルト穴にAボルト(長)を貫通させずに組み立てると、バスケットが斜めに歪んで組み上がりますのでご注意ください。

### 注意!

バスケットの組立てる順番ですが、最初に上段バスケット、次に中段バスケット、次に下段バスケットの順番で取り付けて下さい。

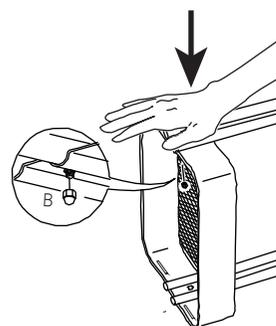
### 注意!

Aボルト(長)は、最後まで締めるのではなく、指で回して止められる程度の仮止めにして下さい。



### 組立のコツ!

下記のイラストの様に、Aボルトの付近を手で押さえて上から押すような形で、組立てていただくとスムーズです。



12

11で組立てた物を起こして下さい。次に下記のイラストの様に、4で仮止めになっていた、Cボルト(短)をドライバーを使用して最後まで締めて下さい。

次に、9と10で仮止めになっていた、Aボルト(長)を、Dスパナを使用して最後まで締めて下さい。

次に下記のイラストの様に、F天板のがたつき止めを貼りつけて下さい。

次に、上部バスケットに③天板を乗せるようにしておいてください。これで完成です。

### 注意!

Aボルト(長)は、Dスパナを使って力いっぱい締めると、ボルトを締める力の方が強いので、バスケットの鉄板が歪んでしまう可能性があるため、力いっぱい締めずに、ある程度固くなったら止めて下さい。

※ご使用になる場所や、組立の仕方によって、商品本体にがたつきが発生する場合がありますが、そのような場合は、Dスパナを使用して、キャスターの高さを微調整して頂くと、直ります。

